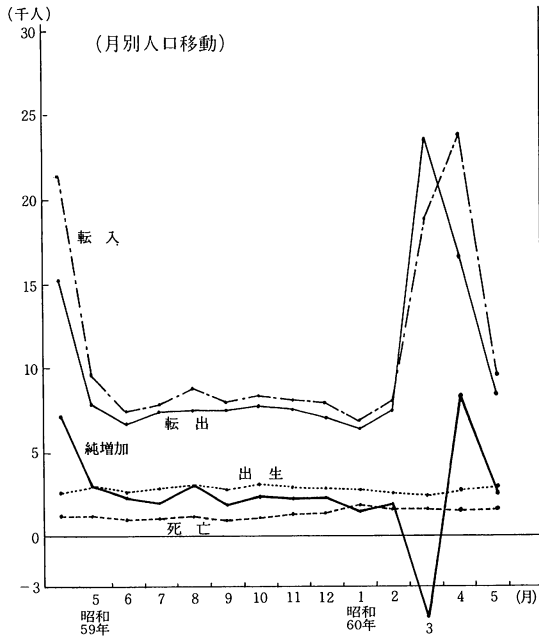
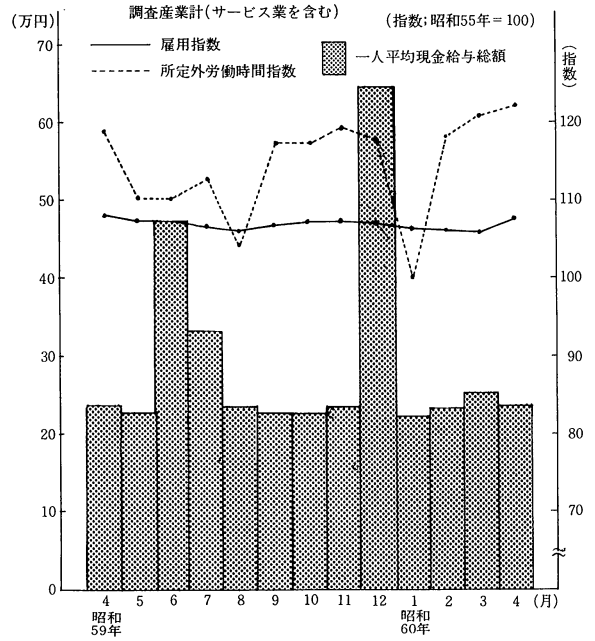


今月の主な動き

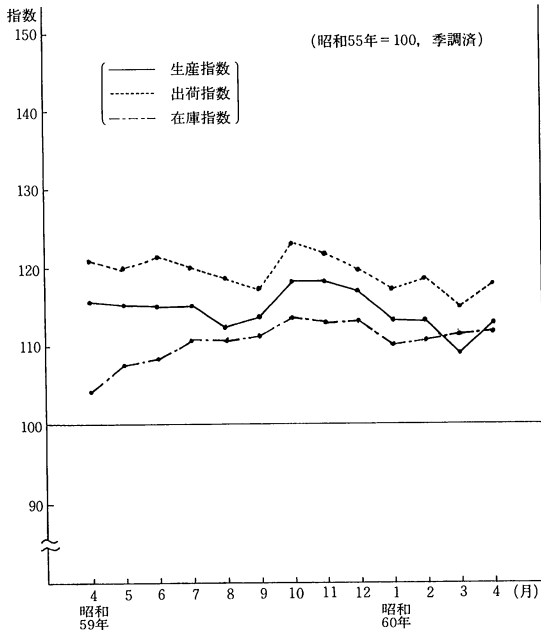
人 口



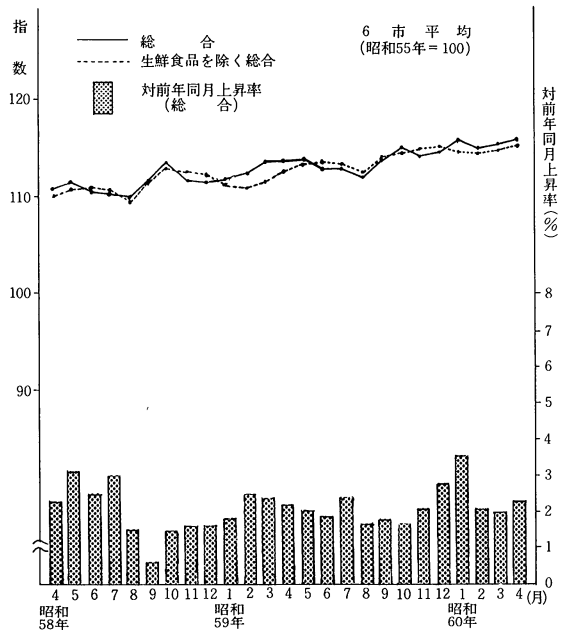
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (6月1日)

本県の人口は、5月中に2,580人増加し、6月1日現在で2,707,490人になった。昨年6月1日と比較すると、26,547人(0.99%)の増加である。

内訳は、自然動態で1,347人(出生2,786人、死亡1,439人)、社会動態で1,233人(転入9,586人、転出8,353人)、そ

れぞれ増加した。

市町村別では、増加が15市45町村、減少が3市26町村、増減なしが3町村である。

世帯数についても、1,845世帯増加して、759,067世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用(4月)

1. 平均賃金の推移

4月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は234,638円で前月に比べ6.4%減(前年同月比3.3%増)であった。

このうちきまって支給する給与は227,102円で前月に比べ2.7%増(前年同月比3.2%増)であり、特別に支払われた給与は7,536円で前年同月に比べ708円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は184.5時間で、前月に比べ5.3%増(前年同月比1.2%減)であった。

このうち所定内労働時間数は165.5時間で、前月に比べ5.8%増(前年同月比1.8%減)であり、所定外労働時間数は19.0時間で、前月に比べ1.1%増(前年同月比3.8%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、107.3で、前月に比べ1.7ポイント増、前年同月に比べ0.1ポイント減であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(4月)

本県における昭和60年4月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が112.5、出荷が117.6、在庫が111.7で、前月比は、生産が2.8%、出荷が2.5%、在庫が0.9%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が2.4%、出荷が2.7%の低下、在庫が7.1%の上昇であった。

生産を業種別にみると、石油・石炭製品、木材・木製品、電気機械等が上昇し、鉱業、鉄鋼業等が低下した。

出荷を業種別にみると、一般機械、電気機械、繊維等が

上昇し、鉱業、非鉄金属等が低下した。

在庫を業種別にみると、輸送機械、鉱業、窯業・土石製品等が上昇し、一般機械等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、資本財、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財が低下した。出荷では、資本財、建設財等が上昇し、非耐久消費財、耐久消費財等が低下した。在庫では、非耐久消費財等が上昇し、資本財、その他用生産財等が低下した。

■ 消費者物価指数(4月)

昭和60年4月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で116.0(昭和55年=100)となり、前月比0.5%、対前年同月比2.3%の上昇となった。

今月上旬上がった主な項目……野菜・海草5.1%、授業料等4.6%、補習教育2.3%、衣料2.2%、家賃2.1%、他の教養娯楽1.5%

今月下旬下がった主な項目……果物△8.7%、魚介類△2.3%、生地・他の被服類△1.0%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	116.0	0.5	2.3	保健医療	116.6	0.0	7.5
食 料	116.9	△0.1	0.7	交通通信	109.2	0.1	2.5
住 居	116.7	1.3	3.8	教 育	139.8	4.0	4.3
光熱・水道	108.4	△0.1	0.0	教養娯楽	118.0	1.3	3.1
家具・家事用品	109.4	△0.1	4.3	諸 雑 費	114.0	0.0	1.2
被服及び履き物	115.5	0.7	5.2	生鮮食品を除く総合	115.5	0.5	2.8